

宅配買取から、 世界を変える会社。



大府第1商品センター

NET OFF

® ネットオフ株式会社 代表取締役社長
黒田武志

宅配買取で、真の循環型社会に

私が社長をつとめるネットオフ株式会社は、社員 63 名の小さな会社です。そんな会社が「世界を変える」なんて、多くの人から笑われるかもしれません。でも、私たちは本気です。まずは「宅配買取」から世界を変えていきます。

そもそも「宅配買取って何？」という方も大勢いるでしょう。「宅配買取」とは、自宅に眠る本や CD、服、バッグ、時計、貴金属、携帯電話などを宅配便で買い取らせていただくというサービスです。午後 3 時までに WEB や電話から申し込んでいただくと、当日中に宅配便が梱包段ボールを持ってお引き取りにおうかがいします。送料も段ボール代も無料。自宅にいながら、ネットでリユース・リサイクル。お金も入ってきて、その上お部屋も片づきスッキリします。

皆さんの家にも、きっと「捨てるにはもったいない。でももう使わない」そのようなモノがあるのではないのでしょうか？ 私たちは、そのようなモノを買い取り、必要とされる方に売ることによって収益を上げ続けてきました。

リユース・リサイクルが進んだ循環型社会は、このように企業がお客様に、捨てるより便利でお得なサービスを提供し、収益を上げ、継続していくことで実現していくはずなんです。

私たちが10年間、夢見てきたこと

会社を立ち上げた10年前には、「宅配買取」というサービスは珍しく、軌道に乗せている会社は皆無。このビジネスモデルで会社を起こすと言うと、周囲から大反対されました。「絶対うまくいきっこない」と。でも、私は、確信していました。これは日本を、世界を変える画期的なビジネスになると。

2000年8月、ブックオフ起業家支援制度第一号として、岡山にある店舗裏の小さな倉庫で創業。以来、10年間私たちは、「宅配買取」の可能性を信じてきました。近くにリサイクルショップがなくても、運ぶ車がなくても、誰でもお手軽にリユース・リサイクルに参加してもらえるこのサービスの可能性に。そして夢見てきました。日本中の人々が、「宅配買取」でリユース・リサイクルすることが当たり前になる姿を。

創業から6年間は赤字。でも可能性を信じてきたからこそ、それを乗り越えることができました。今年、創業10周年を迎えた現在は、愛知県大府市に2カ所、のべ4,000坪の商品センターを持ち、全国から月間約100万点の商品が届くまでになりました。

しかし、「宅配買取が21世紀の日本の、世界のエコなライフスタイルになる」という私たちの夢は、まだまだ遥か先にあります。

モノをまわす、お金をまわす、世界を変える

私たちは、宅配買取に NPO などへの寄付を組み合わせせた「スマイル・エコ・プログラム」を2007年より続けています。これまで、のべ約4万人のお客様に参加していただいたこのプログラムは、NPO などの活動資金の調達手段として、大きな可能性があります。今後は、学校や子供会、自治会など様々な地域活動とも連携し、活動の輪を広げていく予定です。

ネットオフには、すごいIT技術があるわけではありません。他にはない特別な商品もありません。お客さんが感動して涙を流すような画期的なサービスもありません。一品一品、利益をコツコツ積み重ねていくという泥くさいビジネスモデルです。

私たちが日々やっている仕事は、決してカッコよくないかもしれない。でも日本を、世界を、大きく変える可能性やポテンシャルがある。そう信じています。

ネットオフは「宅配買取」から、泥くさく、世界を変えていきます。

<http://www.netoff.co.jp/>